

父から教わった友釣りの魅力

中家 彩子さん（鵜殿）

ボランティア活動を通じて、いつもお世話になっている中村さんからバトンを引き継ぎ、ペンリレーに参加させていただきます。

私は鵜殿で生まれ、数年間の県外生活を経て、再び紀宝町へUターンしてきました。

私の父は、この雄大な自然の中での釣りを愛する人で、夏は川、冬は海へと出かけるのが日課でした。そんな父とは対照的に、まったく釣りに興味がなかった私でしたが、ある日、父が鮎の友釣りに出かけたとき、何気なくその様子を見に行ったの



PROFILE

なかいえ あやこさん

友釣りに魅せられた中家さん(写真左)。「鮎がかかった瞬間の手応えと、川の美しさはなにもにも代えがたい魅力です。父と過ごした時間は、これからも私の宝物です」と話していました。



釣り上げた鮎

がすべての始まりでした。初めて持たせてもらった鮎竿の重み。おとり鮎を操る難しさ、野鮎が激しく飛びかかってくる瞬間の衝撃。その手応えに一瞬で魅了され、一気に友釣りの世界へとめり込んでいきました。

始めたころに教わったのは、鮎を自由に泳がせる「泳がせ」という手法です。不思議なことに私が竿を持つと鮎はぴたりと止まってしまふのに、父に竿を渡すと待ってましたと言わんばかりにスイスイと泳ぎ出します。父への尊敬と、思うようにいかない悔しさが混ざりあう、あの複雑な気持ちは今でも忘れられません。

それから数年、なかなか上達しない私を、父は毎年、熊野川の支流である赤木川や四村川に連れて行ってくれました。透き通るような川の音、吹き抜ける風、

そして鮎が翻るたびにキラキラと反射する光…。その情景は日々の疲れを洗い流してくれるほど美しく、私にとってなによりも癒しの時間となりました。

友釣りを教えてくれた父、いつも父を連れ出す私を笑顔で送り出してくれた母には感謝しかありません。

父が体調を崩してからは一緒に行くことは叶わなくなりましたが、「いつかまた、あの美しい川の情景を父と一緒に肌で感じたい」それが今の私の心からの願いです。

5月号は神内の玉置りささんです。中家さんからは、「りさちゃん陶芸作品にいつも癒されています。これからも楽しみにしてるね♪」

家族で富士山に登ってみたい!!

山本 美紀さん（神内・34歳）

◆趣味は？

カフェ巡りや旅行です。また、夫がカメラ好きなので、家族で景色のきれいな場所へ出かけ、思い出に家族写真を撮ることも楽しみのひとつです。

◆集めているものは？

カフェでもらえるシヨップカードを集めています。気づけば10年以上続き、カードケースに入れてコレクションしています。デザインもお店ごとに違い、見ているだけでも楽しく思い出がよみがえるのも魅力です。

◆旅行に行くとしたら？

ハワイに行きたいです。昔、家族で行ったことがあり、次は子どもたちも一緒に、親子3世代で行きたいと思っています。

◆目標や夢は？

子どもたちがもう少し大きくなったら、家族で富士山に登りたいと思っています。

◆町ごとって？

子育て支援も充実しており、安心して子育てができる町だと思います。これからは、さらに子育てしやすい町になればうれしいです。

はしゃぎっ子

4 月生まれの3歳児



うえはら すずね
上原 鈴音 ちゃん（平尾井）

令和5年4月29日生まれ
尚樹さん & 瞳さんの次女

好奇心旺盛で元気いっぱいのすずねです。おしゃべりが大好きで初対面の人にも積極的に「こんにちは！」と話しかけていく、その物怖じしない姿にヒヤヒヤしつつも毎日笑わせてもらっています。愛嬌たっぷりのやさしい子に育ってね♡…お母さんから

【募集】満3歳の誕生日を迎える子ども(令和5年6・7月生まれ)を募集します。ご希望の方は、広報係(☎33-0334)までご連絡ください。申込期限は4月30日(木)。

若い衆登場

